

令和5年度第3回吹田市スポーツ推進計画（スポーツ施設整備方針）策定会議 会議概要

- 1 日 時 令和5年10月30日（月） 18時から19時30分
- 2 場 所 吹田市役所高層棟4階 特別会議室
- 3 出席委員 富山委員長、祐末副委員長、松井委員、孫田委員、山本委員、望月委員、前田委員、村林委員、中野委員、林委員
- 4 欠席委員 水谷委員、下岡委員
- 5 事務局 井田都市魅力部長、西田文化スポーツ推進室長、金参事、中野参事、大村主幹、守屋主査、及川係員
- 6 議 題 (1) スポーツ推進計画（素案）について
(2) スポーツ施設整備方針（素案）について
(3) その他

7 議事概要

発言者	内容
委員長	議題1「スポーツ推進計画（素案）について」、事務局から説明をお願いする。
事務局	【議題（1）スポーツ推進計画（素案）について】 <資料に基づき説明>
A委員	41ページの「指導者」と「ボランティア」は使い分けているのか。ボランティアを養成するということに違和感がある。
事務局	指導者は公認スポーツ指導員のような競技スポーツの指導にあたってもらう人、ボランティアは社会体育リーダーのように地域スポーツに関わっていただいている人をイメージしており、どちらも研修等により養成している。
A委員	32ページ③高齢者には、「フレイル予防や介護予防などの身体の健康づくりだけではなく」と書かれており、フレイルが身体の健康づくりにのみ関係するよう見える。日本老年医学会のフレイルの診療ガイドラインでは、「フレイルは身体的脆弱性のみならず精神心理的脆弱性や社会的な多面的な問題を抱えやすい」と身体だけではなく心も含んで定義付けられているので、記載に違和感がある。

事務局	脚注の解説にあるように、フレイルは心身両方に関連する認識であるので、本文の記載方法を検討し修正する。
A委員	34 ページの施策 1-2 の方向性に、スポーツ施設だけでなくという記載があるが、スポーツ施設のことが中心になっている。
事務局	スポーツ施設以外のということではなく、スポーツ施設を含めて学校や公園などその他の施設もという意図での記載になっている。
A委員	40 ページの「みるスポーツを特色とする」というのはみるスポーツを意識した整備ということではないのか。
事務局	みるスポーツを意識した施設整備という考えはあるが、すべてのスポーツ施設においてみるスポーツに適した環境を整備するということではなく、数ある施設の特色づけを進める中で、みるスポーツに適した施設も整備していくという意図での記載になっている。
A委員	43 ページの実施体制について、市が様々な主体と連携を図る意図なら「民間企業などと互いに連携を図りながら」という記載の方がいいのではないのか。
事務局	修正する。
A委員	36 ページの②新たなスポーツの説明文だけ実施する内容の記載がないので、他の項目と合わせるべき。
事務局	修正する。
B委員	42 ページの③民間事業者や大学との連携について、大学生が子供に対してスポーツの指導をする取組に参加しているが、大学生が大会で良い結果を残したり積極的にコミュニケーションをとったりしたことなどによって教室に参加してくれる子供が3 か月間で約2 倍に増えた。大学との連携は効果的なので積極的に推進してほしい。
C委員	25 ページの SUITable の解説や、27 ページのイラストはよりイメージしやすく、大変良い修正になった。

委員長	27 ページのイラストに「スポーツ促進」とあるが、「スポーツ推進」にしたほうがいい。また、イラスト全体が SUI T A b l e なスポーツのかかわりであることがわかるようになればいいと思う。個々のイラストについてはより適したものに差替えが必要なものもある。
事務局	現在のイラストは素案時点で基本目標のイメージがわかるように仮で作成しているものであることから、今後、コンサル事業者と調整しながら完成版の詳細のデザインを検討する際にはご意見を参考に修正したい。
副委員長	以前、大阪府の計画のパブコメ時には、イラストの男女比や持ち物についての意見があったので、ジェンダーやインクルーシブの視点にも配慮したイラストにできたらいいと思う。
D 委員	43 ページに PDCA サイクルの図があるが、動詞で合わせて「PLAN、DO、CHECK、ACT」がいいと思う。 また、28 ページの数値目標の「2 運動やスポーツをすることが好きな児童・生徒の割合」の目標値 65%としているが、スポーツが苦手な子や嫌いな子も一定数いるなかでも、スポーツを好きになることが当然として 100%を目指すものなのか。
事務局	理想的には 100%になることが望ましいが、現実的には難しいと思っている。目標値をどこに置くかには様々な考え方があると思うが、スポーツを好きで当然ということではなく、スポーツを「やや好き」な人よりも「好き」な人の方がスポーツの習慣化につながりやすいと考えられるため、少しでもスポーツが好きな児童・生徒を増やしたいという考え。
A 委員	25 ページの最後の段にある「スポーツに関わることができること」は市民目線になっているが、「関わり方を見つけられるようにすること」は市の目線になっているので、「見つけられること」の方がいいのではないか。
事務局	修正する。
A 委員	35 ページにある「取り組みやすいスポーツの情報発信」は「気軽にできるスポーツ」とは違うのか。
事務局	実施にあたってのハードルという面に加えて、スポーツの難易度や強度な

	ど幅広い面で「取り組みやすさ」を意識した記載になっている。
副委員長	先ほど話があったが、スポーツを好きな児童・生徒について100%を目指さないのであれば指標になじまないのではないか。他にもスポーツ庁が掲げている子供の指標などもある。
委員長	国がこの数値を公表した際に、運動が嫌いではいけないのかという意見もあった。哲学的な部分でもあるが、表現や考え方の検討は必要である。
事務局	指標の設定の考え方は先ほど説明した通りだが、考え方等を改めて整理・検討する。
委員長	議題2「スポーツ施設整備方針（素案）について」、事務局から説明をお願いします。
事務局	【議題（2）スポーツ施設整備方針（素案）について】 ＜資料に基づき説明＞
委員長	スポーツ推進計画とスポーツ施設整備方針の関連でいうと、推進計画に多様なニーズに対応できる施設としてアーバンスポーツ等の実施場所の検討の記載があるので、施設整備方針にもアーバンスポーツの記載がなくていいのか。 また、同じように推進計画にはみるスポーツについての記載があるが、施設整備方針には含まれていない。
事務局	アーバンスポーツ等の関心の高まりやそれに伴う実施場所の確保については課題であるということから、推進計画で実施場所の検討について記載するとともに、施設整備方針の課題の整理のところで触れている。しかし、施設整備で対応するのか、既存施設の運用の中で対応するのかなどこれから検討を進めることになるため、現時点で施設整備方針に具体的な内容は記載できていない。 みるスポーツについては、方針3の特色づけの中で進めていきたいと考えていることから、記載方法を検討する。
委員長	特色づけという点では、スポーツ施設を他の公共施設などと複合化して、にぎわいを創出してスポーツをしない人も訪れる施設にすることなども

	<p>考えられる。また、ウォーキングやジョギング、トレーニングなどのニーズが高いので、スポーツ施設を拠点にウォーキングをした後にカフェで交流をするなど公園など周りの環境と一体化した施設やにぎわいを創出する施設ということも考えられる。</p>
事務局	<p>スポーツ施設に限らず公共施設の建替等整備にあたっては複合化も検討することは市の方針としてあるので、ここでは記載していない。個別の施設を整備していく際には検討していく。</p>
委員長	<p>なんでも縮小整理ということではなく、スポーツ施設以外のものと連携させていくという視点は必要である。</p>
副委員長	<p>施設の改修や修繕は課題であり必要であると思うが、それに伴う予算化や施設維持のための財源確保についても触れるような記載があるほうがいい。にぎわいを作り出すことで企業との連携や受益者負担など様々な手法があるので、「様々な財源確保を検討する」という記載があればいいと思う。</p> <p>また、表記でいうと、丸数字が同ページの複数個所に使用されていたり、施設名の表記が混在していたりするので、全体の統一を図る必要がある。</p>
事務局	<p>施設整備にあたっては、限られた財源の中でより有利なかたちで進めていく必要があると考えているので財源確保についての記載の追記を検討する。</p> <p>表記については再度確認・整理し統一を図る。</p>
C委員	<p>施設の廃止やスクラップアンドビルドという視点はないのか。施設は修繕等で永続的に利用できるわけではない。</p> <p>先日特例子会社の見学をしたが、駐車場に柱がなく広かったり、利用しやすい位置にコンセントがあったり、ドアやトイレなど全てが車いすなどでも誰もが利用しやすい施設になっていた。修繕だけでなく建て替えなどではなければならないこともあるので、新しく作る視点も必要である。</p>
事務局	<p>施設整備方針に記載の施設の評価としては、吹田市公共施設(一般建築物)個別施設計画を抜粋しており、短期的には廃止の予定はない。現在も多くの市民に利用されており、アンケート等でも身近な施設というものが求められているので、当面は廃止ではなく継続を前提に考えている。具体的な</p>

	<p>施設整備を進めるにあたっては建替も含めて最適な方法を検討していきたい。</p>
C委員	<p>全ての施設を利用したわけではないが、車いすの方が1人では利用できない施設が多いと思うので、その点でも改修や建て替えが必要である。</p>
E委員	<p>中の島はスポーツ施設と公園が隣接しているので、それぞれが連携することで子供から大人まであらゆる人が利用できる施設になればいいと思う。</p>
事務局	<p>中の島については、スポーツグラウンドと公園を一体で魅力向上を図る取組を進めている。他にも公園内にスポーツ施設がある場所もあるので、各担当が連携しながら相乗効果がある施設整備や魅力づくりを進めていく。</p>
A委員	<p>誰もが使いやすくバリアフリー化を図っていくことなどはわかるが、修繕計画ではなく施設整備方針というなら、にぎわいづくりやこれから進めていきたいことを具体的にうまく盛り込んだものになればいいと思う。</p>
事務局	<p>方針ということで大きな考え方や方向性を示すものになっている。施設の修繕なども課題ではあるが、そのなかでも子供に向けた取組や、施設の特徴づけなど進めていきたいと考えており方針に挙げている。来年度以降、個別施設の整備に向けてこの方針を具体化して進めていきたい。</p>
F委員	<p>スポーツ推進計画も施設整備方針もわかりやすくなっている。その中で、みるスポーツについての記載が弱い印象なので方針に記載をしてほしい。</p>
G委員	<p>弊社でスポーツに関する調査を行い、ガンバ大阪を含めラグビー部や陸上部に関して地域での認知度や交流について確認をしたところ、スポーツ推進計画の指標である「ガンバ大阪を応援している市民の割合」の現状値39.3%と同じような数値がでており、ラグビーについては56%と高い数値となった。このように数値を掲げることは大事であると思う。</p> <p>応援している市民の割合が高ければ、地域へ愛着の数値も相関して高くなっていくので、吹田市に愛着をもって生活していただけるようにスポーツを広めていくために、地元にあるスポーツチームを応援していただくことは、非常に意味のある行為だと思う。</p> <p>施設整備方針については、にぎわいについて計画の中に見えてこないと感じた。市民の皆さんに利用していただける、すそ野が広がるような施設に</p>

	なるように、ハード面ではなくても記載したほうがいいと思う。
委員長	施設整備方針を実現していくことで、このような吹田市になるというような記載もある。
事務局	スポーツ施策を進める中でにぎわい創出に寄与する点はあると考えるので、どこかに記載を検討したい。
D委員	推進計画の基本的な考え方である「する、みる、ささえる、つながる」のもとに施設整備方針が作成されていることが見えにくい。資料1の基本目標のイメージ図や基本理念のサマリーなどを入れるのもいいかもしれない。
A委員	「長期的な視点で様々な種目や利用形態の受け皿になることができる視点」という部分を広げると、にぎわい創出なども絡めて読むことができると思う。
B委員	地域の特色に合わせて、子供向けのイベントや、アーバンスポーツなど体験するきっかけがあまりない種目のイベントなどを開催すると、スポーツをする人が増えていくのではないか。
H委員	13ページにある「RC」や「S」などについては解説が必要。
事務局	説明を追記する。
D委員	推進計画に比べて施設整備方針は玄人向けの文章になっている印象なので、市民の皆さんの目線で専門用語等が突然出てこないような工夫があればいい。
委員長	本日いただいた様々な意見をもとに、事務局で最終案を作成し、各委員に送付の上でパブリックコメントを実施していくことになる。 続いて、議題3その他について、事務局から説明をお願いする。
事務局	【議題（3）その他】 <今後のスケジュール等について説明>